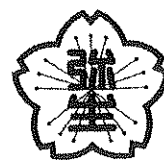


# 弥生小だより

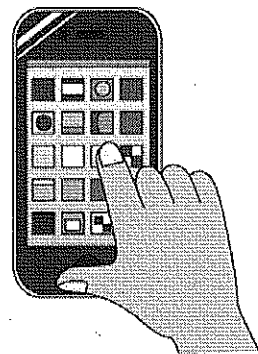
令和元年12月17日



めざす子どもの姿：心豊かに生活する子・自ら学び自ら考える子・たくましく生きる子

## 楽しい冬休みに！

近年、メディアの発達が目覚ましく、本当に便利な時代になりました。交通ナビゲーションシステムは、300km先の見知らぬ目的地であっても確実に案内してくれますし、料理の作り方や旅先の情報、調べたいことなど、ちょっと検索すれば選ぶのに迷うほど大量の情報を入手することができます。



「スマートフォン」という言葉が市民権を得るようになったのは10年ほど前からではないでしょうか。通勤電車で新聞や本を読んでいる人はめっきり減り、向かい側の座席に座っている社会人が、ヘッドホンやイヤホンを使って音楽を聴いたり、ゲームに夢中になっていたりすることも珍しくありません。私たちの生活に今やなくてはならないものとしてメディアがあることは疑わざる事実です。

しかし、便利な道具は包丁と同じで、便利になればなるほどまさに諸刃の剣です。11月にはSNS上で誘い出された大阪の女児が栃木まで連れ去られ、監禁される事件も起こりました。また、体力低下やキレやすさ、ちょっとしたことですぐ転び大きな怪我をしてしまうこと、大人の話がきちんと聞けないなど、子どもたちの体や心の良からぬ現状が指摘されるようになったのも最近のことではありません。

優しさや思いやり、生きる意欲、豊かな想像力、自己抑制力、規範意識など、他の動物と分けられる「人間らしさ」を育む脳の前頭葉の発達は8～10歳でほぼ決まるそうです。エッセイストで数学者の藤原正彦氏も「小学校時代とは、童話、物語、偉人伝、詩などをできるだけたくさん読み、感動の涙とともに、惻隠の情、卑怯を憎む心、正義感、勇気、家族愛、郷土愛、祖国愛など胸に吹き込む時だ」と著書の中で主張されています。

けんかが起こることは当たり前です。しかし、その中で仲直りしたり、さらには助け合ったり、喜びや悲しみを共にしたりして濃い人間関係の中で子どもたちを育みたいものです。一方で、便利な時代は後戻りしません。情報を適切に選び賢く活用する能力は、次代を生きる子どもたちに必須であるともいえます。

間もなく子どもたちが楽しみにしている冬休みがやってきます。冬休みは、この1年間を振り返り、新しい年を気持ちよくスタートさせるための大切な区切りの休みです。家族、親子・兄弟姉妹と過ごす時間が多くあります。家族が協力し合って年末の大掃除や新年に向けての準備をしたり、団らんの時間をもったりするなど、温かい雰囲気をつくって過ごしてほしいと願っています。そして、外遊びや読書も含め、メディア以外のものの良さに改めて触れる機会を是非家庭でも考えてみてください。



### 1月の予定

7日(火) 始業式    8日(水) 給食開始    9日(木) 避難訓練  
16日(木) 北中新入生保護者説明会・弥生小入学説明会・新入児体験入学  
28日(火) 授業参観(5限・6限)

弥生小学校ホームページをご覧ください。

<http://yayoi-e.yatomi-schoolnet.jp/>